

新型コロナウイルス感染拡大防止のための参加心得

1 健康観察

- ① 大会2週間前の5月28日(土)から健康観察と検温を実施します。大会当日の朝にも必ず健康観察と検温を実施の上、健康チェックシートに必要事項を記入し体操競技は6月11日(土)の朝に、新体操は6月12日(日)の朝に提出します。(朝に顧問に提出が原則。状況により朝に行えない場合は顧問と相談)
- ② 体調に異常がある場合は参加を見合わせます(出場辞退)

2 マスクの着用

- ① 参加者はすべてマスクを持参し、着用します。
(競技中の選手、および審判は除きます。また、気象条件等により熱中症が心配される場合はマスクを外すこともあり得ます。その際は他者との距離を十分に確保します。)

3 こまめな手洗い等(手指消毒アルコールとマイタオルの持参)

- ① 競技の前後や昼食前など、こまめに手洗い等を行います。その際、可能な限り石鹸を使用します。
- ② 手洗いの際に手を拭くためにマイタオル(ハンカチ等)を持参します。
- ③ 手指消毒のための消毒用アルコールを持参します。

4 競技中について

- ① 競技中に痰(たん)や唾(つば)などをはかないように気をつけます。
- ② タオルの共有はしません。
- ③ 水分補給は、周囲となるべく距離を保ち対面を避けます。また、飲料の回し飲みはしません。
- ④ 試合前後の挨拶は簡略化し、握手、ハイタッチ、大声でのかけ声は行いません。
- ⑤ 屋内、屋外共に大きな声での応援はしません。原則、拍手での応援とし、ベンチや観客席では他者との距離をできるだけ2mを目安に最低1mは確保します。
- ⑥ 競技直前や競技中にマスクを外して待機する際には、他者との距離をできるだけ2mを目安に最低1mは確保します。
- ⑦ 試合中、試合後のミーティングは可能な限り短時間で行います。ミーティング等を行う際は可能な限り屋外で実施し、他者との距離を1m~2m以上確保します。

5 会場入り、大会終了後について

- ① 可能な限り試合時間に合わせた会場入りを心がけます。
- ② 試合が終了したら原則、すぐに会場を出ることを心がけます。

6 その他

- ① 飲みきれなかった飲料等は自宅に持ちかって処分します。

7 大会参加を希望する場合

- ① 大会に参加する場合は、新型コロナウイルスの感染リスクがあることを理解し、参加心得の内容、および要項等の注意事項に同意して同意書を校長に提出いたします。

健康チェックシート

第71回 仙台市中学校総合体育大会（体操競技・新体操） 期日：6月 日（ ）

所属中学校 氏名		あてはまる者に「○」をつける↓ 生徒（出場選手・団体補欠・部員・音楽係） 顧問・コーチ・審判・撮影係（保護者）・大会役員	
性別 男・女	年齢 歳	保護者は生徒の学年・組・氏名を記入してください 年 組 氏名	
6月 日（ ）の体温		℃ 連絡先（電話番号）	

注意事項

- この用紙に必要事項を記入し、生徒、撮影係の保護者、コーチは所属する学校の顧問に提出してください。（撮影係の保護者、コーチが提出の際に、顧問が係の仕事の場合は受付に直接提出してください）
- 顧問は生徒の健康をチェックし問題がなければ大会の出場の準備をさせてください。（コーチ・保護者も）
- コロナに感染、または、濃厚接触者になった場合は、保健所の指示による自宅等における療養期間中、外出自粛期間中の大会参加は認められない。PCR検査等の対象者の場合、結果判明する前の大会参加は認められない。（生徒、顧問、コーチ、審判、大会役員などすべてが対象）
- 所属の学校がコロナ関係のために休校になった場合は、顧問は出場辞退の連絡を委員長までお願いします。
- 顧問は、生徒等が大会当日に体調不良、発熱等の症状が出た場合は、出場辞退を本部まで連絡し、保護者への連絡をお願いします。
- 同行者一覧、健康チェックシート等に記入された個人情報等は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の目的以外に使用することはありません。ただし、感染が疑われる状況が生じた際には関係期間へ情報を提供いたします。そのため、本部で1ヶ月程度保管することになります。

健康チェック

過去2週間（ 月 日から14日間）における以下の事項の確認（あてはまるものに「レ」をつける）

・平熱を超える発熱はなかった。	
・だるさ、倦怠感（けんたいかん）、息苦しさ（呼吸困難）はなかった。	
・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状はなかった。	
・嗅覚や味覚の異常はなかった。	
・自分自身、同居家族等が保健所による疫学的調査で濃厚接触者と特定されていない。	
・新型コロナウイルス感染症で陽性とされた者との濃厚接触はなかった。	
・同居家族や身近な知人が保健所による疫学的調査中ではない。	
・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触はなかった。	
・感染対策を施しても、感染リスクが0（ゼロ）ではないことを承知している。	

